

平成29年度名古屋大学大学院工学研究科博士課程（前期課程）
機械理工学専攻（機械科学分野，機械情報システム工学分野）

受験に際しての注意事項

出願者は「学生募集要項」を必ず熟読し、さらに以下の点について注意してください。

(1) 出願について

入学者の選抜は「一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）」により行います。ただし、募集人員の一部について筆記試験免除を実施します。学生募集要項を熟読の上、出願してください。

(2) 第2志望専攻（分野）について

第2志望専攻（分野）としてマイクロ・ナノシステム工学専攻を志望することができます。

(3) 筆記試験について

試験科目は以下の通りです。実施方法、日程については学生募集要項「6. 選抜実施方法及び試験日程」を参照してください。

1) 外国語 英語：筆記試験は実施しません。

提出されたTOEFL (Test of English as a Foreign Language) またはTOEIC (Test of English for International Communication) のスコアに基づいて成績を評価します（次項（5）を参照）。

スコアシートを提出しない場合には、外国語（英語）の試験は評価されませんが、出願は可能です。

英語を母語とする出願者は機械理工学専攻の事務室まで問い合わせてください。

2) 基礎部門

数学：微積分，線形代数，常微分方程式，初等ベクトル解析から出題。全問解答する。

物理学：力学（質点の力学，質点系の力学，剛体の運動）1問と電磁気学（静電界，電流と磁界，電磁誘導）1問を出題。2問の中から1問を選択して解答する。

3) 専門部門 下記の3問を出題。全問解答する。

材料力学・加工学， 流体・熱力学， 振動・制御工学

（なお，各問の中にも選択問題はなく，全問題必答です。）

a. 材料力学・加工学

（応力とひずみ，引張と圧縮，はりの曲げ，丸棒のねじり，組合せ応力，ひずみエネルギー，薄肉円筒と球殻，切削加工，砥粒加工，各種特殊加工，工作機械）

b. 流体・熱力学

（流体の性質，静水力学，理想流体の基礎方程式，運動量の法則，管内流れと損失，次元解析と模型実験，熱平衡と温度，理想気体，熱力学第1法則，熱力学第2法則，熱サイクル，熱力学関数，相平衡と化学平衡）

c. 振動・制御工学

（自由振動と強制振動，1自由度系の振動，2自由度系・多自由度系の振動，伝達関数，過渡応答，周波数応答とボード線図，安定判別法と安定余有，フィードバックと制御系設計）

(4) 筆記試験免除について

募集人員の一部について、学業成績優秀者で、本専攻での勉学に高い意欲を持つ者に対して筆記試験免除を行います。筆記試験免除を希望する者は、学生募集要項「6（2）筆記試験免除による選抜について」を熟読の上、必要書類を添えて出願してください。筆記試験免除者の選抜は書類選考及び面接試験の2段階により行います。英語能力評価のためにTOEFL/TOEICの公式のスコアシートが必要です。よって、次項（5）のとおり、出願時に他の出願書類と併せてスコアシートを提出してください。筆記試験免除を希望する志願者は、出願期間が筆記試験免除を希望しない者とは異なり、平成28年6月15日（水）～16日（木）であることに注意すること。筆記試験を免除された受験者は一般選抜試験の口頭試問のみを受験することとなります。筆記試験を免除されなかった受験者は、一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）を受験することとなります。

(5) TOEFL/TOEIC のスコアシートの提出に際しての注意点

学生募集要項「4. 出願書類等 ⑤」を熟読の上、下記の点にも注意すること。

①得点として有効なスコア：

平成26年6月1日以降に実施されたスコア。なお、TOEIC については、平成28年5月29日実施分までのスコアシートのみ受け付けます。

TOEFL については、PBT (Paper-based Test), iBT (Internet-based Test) のいずれも有効。しかし、団体向け TOEFL テストプログラム (ITP: Institutional Testing Program) のスコアは受け付けません。

TOEIC については、団体特別受験制度 (IP テスト) のスコアは受け付けません。

なお、複数のスコアが提出された場合には換算点の高いものが採用されます。ここで、「複数」とは TOEFL と TOEIC という意味であり、同じ種類の試験のスコアシートは、一度提出した後原則として差し替えできません。

②スコア提出方法：

すべての志願者

TOEFL Official Score Report については、出願期間最終日（筆記試験免除を希望する志願者：6月16日（木）、筆記試験免除を希望しない志願者：7月14日（木））までに届くように余裕をもって送付依頼手続きを行うこと。なお、送付依頼の際に **Institution Code は 0312, Department Code は 68** を指定すること。また、送付依頼したスコアに対応する Examinee Score Report のコピーを、出願時（筆記試験免除を希望する志願者：6月15日（水）～16日（木）、筆記試験免除を希望しない志願者：7月11日（月）～14日（木））に他の書類と併せて提出すること。

TOEIC Official Score Certificate については、出願時（筆記試験免除を希望する志願者：6月15日（水）～16日（木）、筆記試験免除を希望しない志願者：7月11日（月）～14日（木））に原本を他の書類と併せて提出すること。

提出したスコアシートは返却しません。

筆記試験免除者選抜において筆記試験を免除されなかった受験者

TOEFL/TOEIC のスコアシートの再提出を平成28年8月4日（木）17時まで認めます。郵送により提出する場合は、各自で封筒を用意し、「スコアシート在中」と朱書きし、郵便局の特定記録で発送すること。

③筆記試験当日：

TOEFL のスコアに基づいて成績評価を希望した者は、試験期間中 Examinee Score Report の原本を必ず携帯すること。

※参考

- TOEFL/TOEIC に関する詳細は Web サイト (TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/>, TOEIC: <http://www.toeic.or.jp/toeic/>) を参照するか、または試験の実施機関に問い合わせること。
- 英語の成績評価は、すべて TOEFL(PBT)スコアに基づいて行います。TOEFL(iBT)または TOEIC のスコアからの換算は次の方法に依ります。
 - (a) TOEFL(iBT) : TOEFL 公式サイトに示されている換算表
 - (b) TOEIC : TOEFL(PBT)スコア = TOEIC スコア × 0.348 + 296

(6) 口頭試問について

- 1) これまで大学で学んだこと及び一般的事項について口頭試問を行います。
- 2) 実施方法、日程については学生募集要項「6. 選抜実施方法及び試験日程」を参照してください。
- 3) 筆記試験終了後に、第1志望専攻での口頭試問の実施時間、会場等について指示します。また、第2志望専攻がマイクロ・ナノシステム工学専攻の場合には、第2志望専攻での口頭試問はありません。具体的な指示は試験期間中に行います。

(7) 講座内容について

各講座、研究グループの構成、研究内容等については、ホームページ (<http://www.mech.nagoya-u.ac.jp/>) 及び「専攻案内」の機械理工学専攻（機械科学分野、機械情報システム工学分野）を参考にしてください。

(8) その他

- 1) 試験中の携帯電話や電子辞書、IC レコーダー、電卓等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりとしても使用できません。
- 2) 筆記試験では、試験開始後30分以上の遅刻は認められません。
- 3) 筆記試験では、試験開始30分前には試験会場に入場してください。
- 4) 筆記試験では、早退は一切認められません。